

## 令和4年度 第1回地方創生推進会議 要録

日 時：令和4年11月22日（火） 19：00～20：35

場 所：郡上市役所 4階大会議室

出席者：（委員）井俣 潤、曾我 厚夫、出崎 善久、兼山 吉枝、熊崎 弘一、小倉 誠、  
山下 哲男、稲葉 光紀、粥川 和雄  
（事務局）武藤課長補佐、木嶋係長  
（建設部）粥川課長、三島課長補佐、和田係長

欠席者：青木副市長、名畑 周

傍聴者：なし

### 1. 開会

（武藤課長補佐により開会）

### 2. 会長、副会長の選出について

事務局①：会議の設置要綱では「会長1名、副会長1名は委員の互選により定める」とある。事務局案により、会長、副会長には引き続きお願いしたいと思うがよろしいか。

会議：（異議なし、拍手）

（会長：井俣潤氏、副会長：兼山吉枝氏に決定）

会長、副会長：あいさつ

### 3. 協議事項

（進行を井俣会長に交代）

「第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定したK P I の進捗状況について」

（説明）

事務局②：（資料をもとに説明）

- 1－1：新型コロナの影響が非常に大きく、相次ぐまん延防止などにより観光人口が伸び悩んだ結果となっている。
- 1－2：コロナ過でありながらも一定の上昇があったものの、依然として目標値とは離れている状況である。
- 1－3：農業関連の指標であることも踏まえ、高い水準で目標値に近づいているといえる。
- 1－4：現在は指導や調査の最中であり、今後の効果に期待ができる。
- 1－5：合宿の誘致などの活動が表れてきた結果となっているが、コロナ禍によ

- り、日帰りの利用者が多く、宿泊者が伸び悩んでいる。
- 2-1：新型コロナの拡大に反して、移住者の数は増えている状況にある。R3の実績としては100世帯158人の方が郡上市へ移住されている。
- 2-2：事業内容の変更により、主の目的を次世代の創り手の育成（中高生）へ切り替えたことにより、目標達成が難しくなっている。
- 2-3：コロナの影響が大変大きく、イベント開催が出来なかったことなどにより、伸び悩んでいる。
- 3-1：ファミサポ提供会員が大きく減少しているが、こちらは会員の整理として、幽霊会員の洗い出し等を行ったことにより大きな減少となった。
- 3-2：概ね目標値達成が見えてきているところである。
- 3-3：マリアージュ郡上の登録者数自体が伸び悩んでいることが原因であるため、課題解決に向けて周知活動等を行っている。
- 3-4：引き続き提案募集を働き掛けていく。
- 4-1：新型コロナの影響が非常に大きく、伸び悩んだ結果となっている。
- 4-2、4-3：概ね目標値達成が見えてきている。
- 4-4：特定検診においては高い水準を維持しているものの、健康づくりに関しては、新型コロナの影響が非常に大きく、伸び悩んだ結果となっている。
- 4-5：概ね目標値達成ができている事業もあるが、新型コロナの影響により減少した事業もある。
- 5-1：昨年度本庁舎屋上と文化センター屋上に太陽光発電設備を設置した。目標値に向けて更なる検討を行いたい。
- 5-2、5-3：概ね目標値達成が見えてきている。
- 6-1：コロナ過の影響もあり実現件数が伸び悩んでいる。
- 6-2：小さな拠点とネットワークについては、現在、部内において行動計画策定に向けて協議を行っているところであり、実現には至っていない。

(意見等)

- 委員①：近年は、コロナ禍のなか、起業をする人が増加傾向にある。
- 委員②：中・長期計画は事業を実施するうえで必要である。また、やるべき事を明確にしている目標は大事である。
- 委員③：観光については、インバウンドのお客を呼び込めない状況が続いていたが、ここ数カ月で客層が変わってきた。風流踊りのユネスコ無形文化遺産登録に併せて、良い方向に向かうと考えている。
- 委員④：農業者の話として、資材高騰が続いている。その中で、岐阜県より収入計画を見直すことが必要と言われている。
- 委員⑤：木材生産林にて皆伐を行うと再生林の必要があるが、獣害により植林したものが食べられるなど被害が大きく進まない。
- 委員①：木材生産量の評価において、今後に期待が持てる理由とは何か。
- 事務局②：所管課からの聞き取りによれば、現在行っている境界確定の業務が終われば保全林の面積が増えてくるとのこと。
- 委員⑥：岐阜県が行うWLBエクセレント企業数は着実に増えている。また、目標値に

ついて、簡単に変更することは可能なのか。

→事務局①：K P I などの見直しについて、総合戦略自体の改訂となるため、安易に変更することはできない。

委員⑦：少年スポーツ団体の加入率について、現在、中学校では団体スポーツにおいて部員不足により競技が出来なくなってきている。クラブ活動に移行しつつあるが、送迎など問題点があると聞いている。

また、要望になるが、これからの郡上市を担う若者たちが、将来、郡上へ帰ってくるために、地域・企業で色々な体験をさせたいと考えている。

委員⑧：放課後児童クラブ開設数など、目標達成していることは良いことだが、これを継続させることが大事である。その手立てが必要ではないか。全てにおいて、持続させることを考えていただきたい。

委員⑨：公共交通の利用人数が伸び悩んでいるが、市には現在の公共交通を維持しつつ、福祉有償運送の支援をするなど、もう少し小さな交通網にも配慮をお願いしたい。

委員⑩：おみサポについて、昨年度も質疑に挙がっていたが、上昇していない。

→事務局②：現在も周知活動は行っているが、残念ながら伸びてきていないのが現状であるため、もう少し違う角度からの募集案内を検討していく必要があるかもしれない。

会長：様々なご意見、感謝する。

#### 「地域再生計画（地方創生整備交付金）の計画変更について」

（説明）

建設部①：（資料をもとに説明）

（意見等）

会長：ご意見やご質問はないか。

会長：意見が無いようなので「地域再生計画（地方創生整備交付金）の計画変更について」本会議にて承認することとする。

#### 4. その他

事務局②：国の方針により、現在の「第2期郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に改訂することとなっている。今のところ、国より細かな方針が出ていないため一概に言えないが、次年度に複数回の協議をお願いする可能性があるのご承知おき願いたい。

#### 5. 閉会 兼山副会長

（終了 20時35分）